

『仲が良かったのは、難病のおかげ』春山由子著

新刊紹介

24歳で進行性筋ジストロフィ  
Iを発症し、昨年2月に逝去し  
た株式会社ハンディネットワー  
クインターナショナル創業者、

春山満氏の妻春山由子さん（現  
在、同社専務取締役）がこのほ  
ど、涙と笑いに満ちた波乱万丈  
の人生を綴った自身初の書『仲  
が良かったのは、難病のおか  
げ』（講談社、1300円税別）  
を発売した。

政治ジャーナリストの櫻井よ  
しこ氏推薦の書で、今回息子で

同社代表取締役を務める春山哲  
朗氏の説得により出版を決意。  
夫の介護や、2人の息子の世  
話、商売を支えるための金策に  
追われた闘いの日々が克明に描  
かれている。

由子さんは冒頭で「首から  
上は商売人、首から下は要介護  
者」と明るく自称する彼と歩ん  
できた日々の中、私たちはいく  
つもの大きな山を乗り越え、ど  
んな暗闇の中にも光がある  
ことを信じて前に進み続け、そ  
して、そんな毎日を心から「楽  
しかった」と思える今がありま  
す」と現在の心境を述べる。



介護・医療業界  
の風雲児と知られ  
た春山満氏を37年  
間、陰日向に支え  
続けた春山由子さ  
んが「出口のない  
暗闇の中、手探り  
で生きる」方々に  
エールを送る渾身  
の一冊。